

東京オリンピック・パラリンピック大会を 契機とした対日直接投資の拡大に向けて

平成27年5月27日

経済産業省
文部科学省

オリンピック・パラリンピック東京大会を契機とした対日直接投資の推進

- 日本再興戦略に掲げられた「対内直接投資残高を2020年に倍増する」という目標を達成するためには、日本が国際的な注目を集め、外国企業関係者の来日も増えるオリンピック・パラリンピック東京大会という千載一遇の機会を十分に活用すべき。
- 対日直接投資を拡大するには、日本企業による国内投資を促進するようなビジネス環境の実現が不可欠であり、日本再興戦略に掲げられたビジネス環境整備を着実に実行しつつ、その成果を海外に向けて発信することが必要。
- このため、2020年に向けて、Japan Business Conference(JBC)等の国際的なイベントを開催し、改善された日本のビジネス環境を世界に発信することとしたい。

東京オリンピック・パラリンピック大会を活用した取組

- Japan Business Conference の開催(2020年)
東京大会の開催に合わせ、外国企業CEOを招へいし、総理・関係閣僚が歓待するとともに、改善された日本のビジネス環境を発信する。
- Regional Business Conference の開催(2019年～2020年)
外資誘致に積極的な地方自治体と連携し、地方単位でのトップセールス、ビジネス・マッチングの機会を提供する。

2016 リオ大会
スポーツ・文化・ワールド・フォーラム

2019ラグビー
ワールドカップ
(全国12ヶ所開催)

2020 東京大会
グローバルベンチャーサミット

日本全体

- 2020年倍増目標(18兆円→35兆円)の達成に向け、政府の取組強化
 - ビジネス環境改善(商品力強化)
「5つの約束」、規制制度改革、国家戦略特区、ワンストップセンター
 - 誘致活動強化(営業力強化)
トップセールス、ジェトロの機能強化

政府主催のJapan Business Conference

- 投資環境のアピール
- 新たな投資案件の発掘
- 大型投資案件の公表

地方自治体

- 国及びジェトロと連携した誘致活動(次頁)

地方自治体主催のRegional Business Conference

- 経済産業局が核となり、ブロック内の意欲的な自治体が広域連携

国及びジェトロと連携した地方自治体における取組

2015年度

2016年度

2017年度

2018年度

2019年度 2020年度

地方創生交付金の活用

○ 平成26年度補正予算1,700億円の内数

【取組の具体例】

- 国内に立地する外国企業を対象とした二次投資セミナーの開催(横浜市)
- 専門家によるコンサルティング、テンポラリーオフィスの経費補助(京都府)
- 海外でのトップセールスの実施(神戸市)
- 各国大使館・外国企業の担当者を招いた視察ツアーの実施(岡山県)

地方拠点強化税制の活用

地方版総合戦略の策定及び実施(5ヶ年計画)

1. 強み・弱みの把握/誘致戦略の策定

○ 地方経済の分析(重点分野の特定)、インセンティブなど誘致体制作り など

2. トップセールス・情報発信

○ 海外セミナー開催、メディア招聘・視察ツアー実施 など

3. 個別企業へのアプローチ

○ ターゲット企業の選定、投資計画提案 など

4. 立地支援・フォローアップ

○ 企業招聘・視察、拠点設立支援、地元中堅・中小企業とのネットワーキング など

Regional
Business
Conference
の開催

ジェトロによる支援

- 上記1～4の事業に対する支援メニューを用意し、自治体が利用
- 海外76事務所、国内42ヶ所の貿易情報センターを活用
- 120名体制(昨年度)を160名規模(今年度)に拡大して支援体制を強化

地方における誘致成功事例

ダウ・イー社(シンガポール) 誘致自治体: 広島県庄原市

企業概要: 世界18カ国に57拠点を持つ半導体・電子機器部品の製造会社。



自治体の強み

- ・県内にエレクトロニクス分野の先端工場が集積。
- ・外国企業に対して、土地・建物・設備購入時の助成を用意。

JETRO、自治体間の連携

- ・JETROシンガポール所長が現地のパーティーで同社社長と知り合い、日本進出に関心があることを知る。
- ・広島県がJETROと連携して、クリーンルームを備えた休眠工場等の物件情報を提供し、現地視察をアレンジ。

結果

- ・2011年6月、休眠工場を活用して、同社がフィルム液晶の製造・R&D拠点設立を決定。
- ・初期投資総額15億円、当初10名、現在は30名を雇用。
- ・フィルム液晶の製造に必要な溶剤を県内企業より調達。

【出典】METI-RIETIシンポジウム JETRO講演資料
JETRO Success Stories

ユミコア社(ベルギー) 誘致自治体: 兵庫県神戸市

企業概要: リチウムイオン電池の正極材料で世界2位のシェアを持つ会社。



自治体の強み

- ・リチウムイオン電池のユーザーである電機電子企業が集積。
- ・外国企業向けオフィス賃料補助等の優遇措置を用意。

JETRO、自治体間の連携

- ・JETRO二次投資セミナーに参加した同社社長が充電電池分野の事業拡大についてJETROに相談。
- ・神戸市がJETROと連携して、神戸ポートアイランド等の産業団地の情報を提供。

結果

- ・2011年6月、同社がリチウムイオン電池の製造拠点設立を決定。
- ・初期投資総額40億円。当初29名、現在は200名を雇用。
- ・優秀な技術系人材が多く、人材確保の面でメリットを享受。

【出典】METI-RIETIシンポジウム JETRO講演資料
神戸市HP 進出企業インタビュー

グローバルなベンチャーエコシステムとの連動による対日直接投資拡大

○グローバルなベンチャーエコシステムと連動し、2020年に大規模なグローバルベンチャーサミットを開催。世界のイノベーションハブとしての求心力向上を目指す。

【人材育成】

- 起業家、大企業の新事業人材、VC等の支援人材をシリコンバレー等に派遣し、グローバルな事業目線を持った人材を育成し、成長力のあるベンチャーや大企業新規プロジェクトを創出。グローバル連携の起点とする。

【海外企画への参画】

- SLUSH、SXSW等の国際的なマッチングイベントに参画し、我が国の企画との連動を図ることにより、我が国ベンチャー企業の海外での活躍の機会を増やす。

【日本での企画】

- 海外企業・VC等を日本に呼びこみ、我が国ベンチャー企業と海外企業・VC等との交流を促進し、我が国ベンチャー企業の海外での活躍に向けた足がかりとする。

【政策対話】

- 積極的なイノベーション政策を講じている諸外国の政策当局との対話を通じて、政府レベルでもベンチャーエコシステムとの連携を促進。

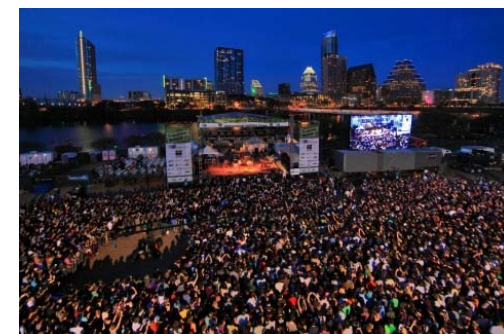
○世界規模のベンチャーイベントの例 【SLUSH】

2008年よりフィンランドで学生や若い起業家を中心となって企画運営している“スタートアップ”を育成するためのイベント。今年度は世界49カ国で予選を行い、本番には全世界79カ国から16,000名以上が来場した。フィンランドの首相をはじめ、世界各国から首相や政府関係者が訪問し、ベンチャー創出の機運を高める上で大変注目を集めている。日本からは三木谷氏（新経済連盟代表理事）がフィンランドのストゥブ首相・エストニアのロイヴァス首相と3名でのステージセッションに登壇。2015年4月には、SLUSH ASIAを東京で開催。



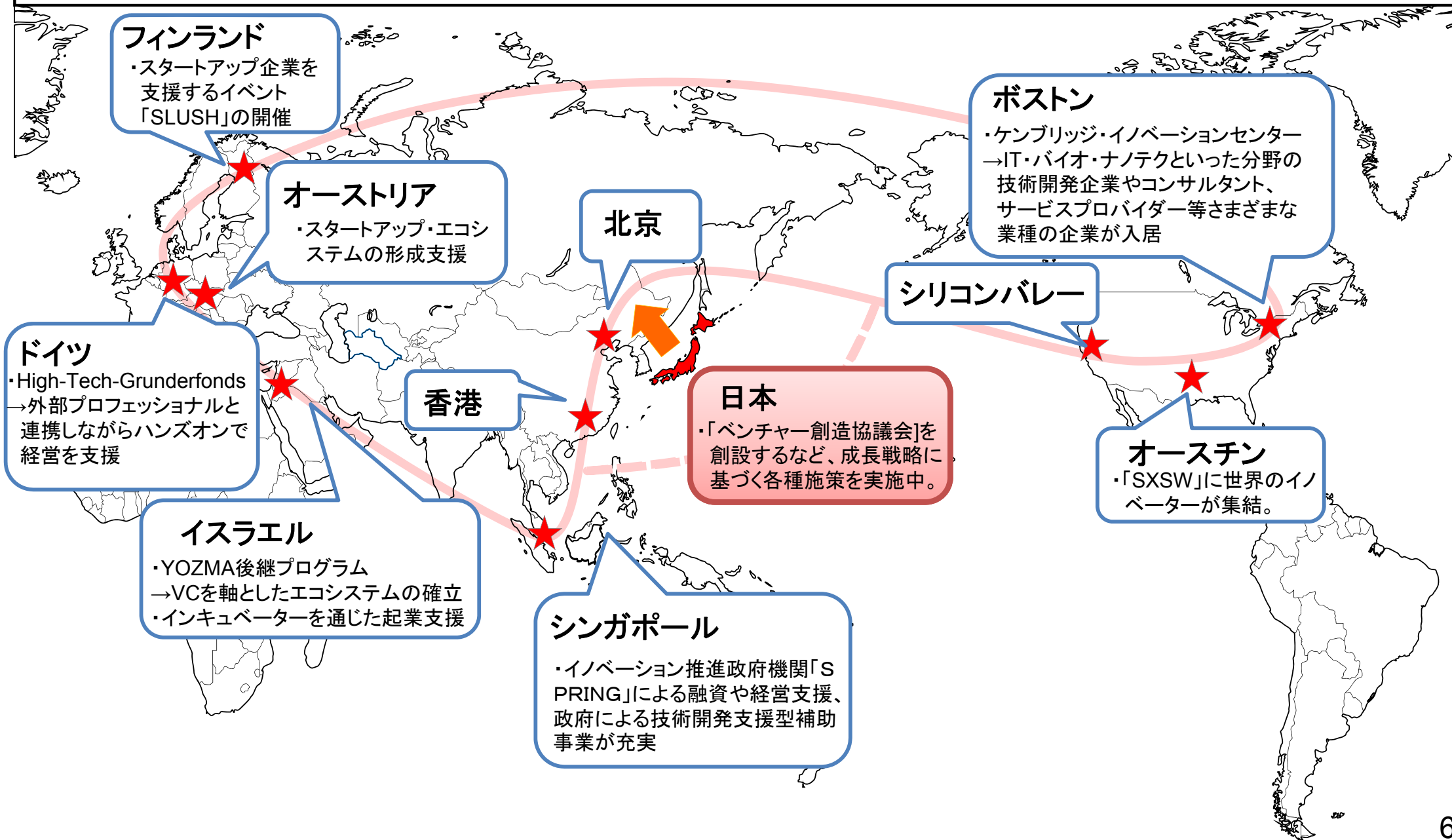
【SXSW】

1987年に音楽フェスティバルとしてスタートし、現在は世界屈指の音楽・ビジネスイベントに（5万人以上集客）。世界の先端的なスタートアップ企業も集結し、グローバル展開の登竜門となっている。

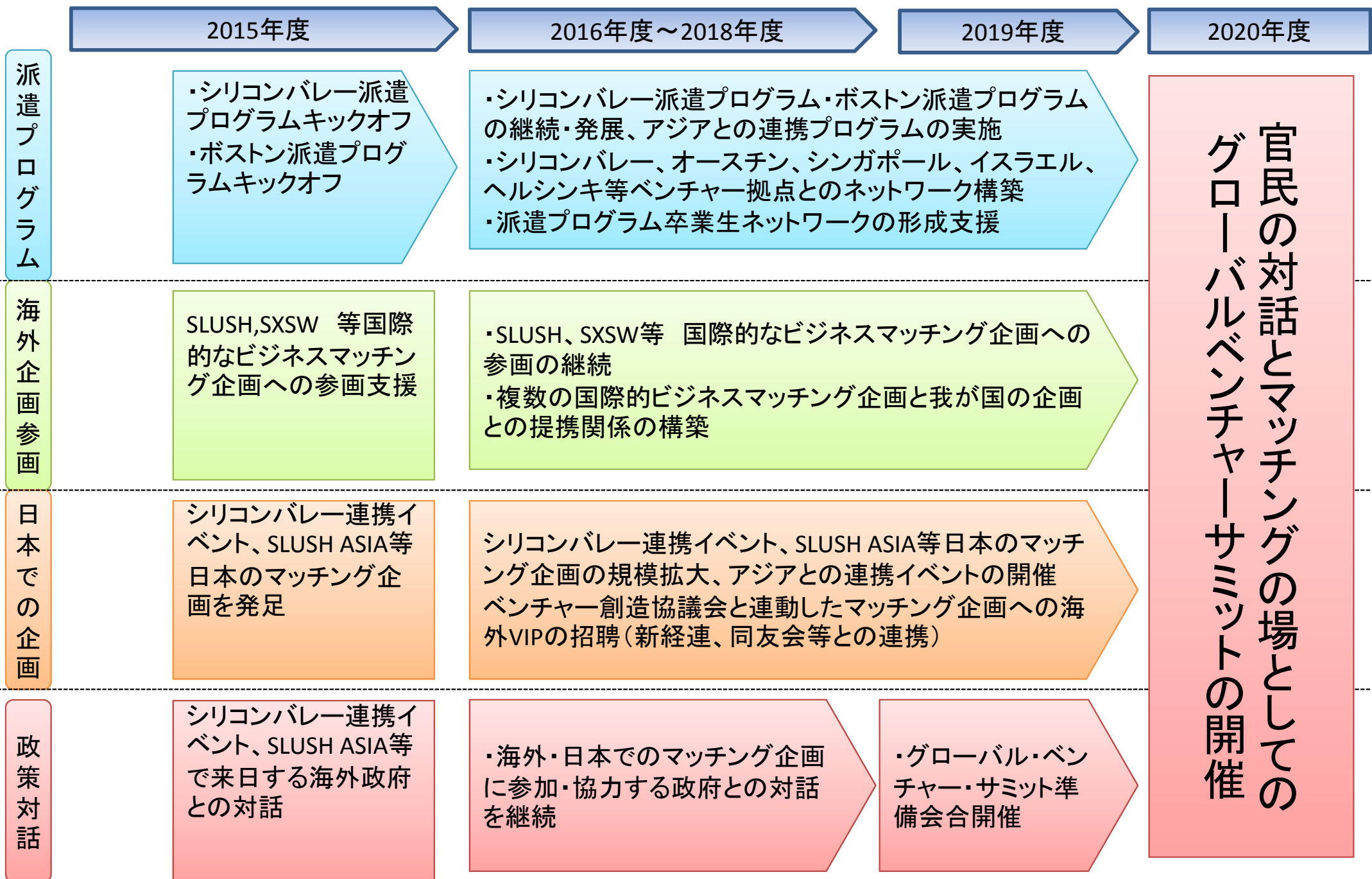


(参考) グローバルなベンチャーエコシステムの実態

- ベンチャーの創出に向け、各国がイノベーション施策を展開し起業家・事業シーズを奪い合っている。我が国も、グローバルなベンチャーエコシステムと連動する必要。



(参考)グローバルベンチャーサミットに向けた工程



参考資料:

「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム（仮称）」
プロジェクトについて

スポーツ・文化・ワールド・フォーラム（仮称）プロジェクトの全体像

連絡調整会議

日本政府、経済団体、地方公共団体

世界経済フォーラム、ダボス関連企業

スポーツ・文化・ワールド・フォーラム（仮称）

（文科省を中心に日本政府が主体となって経済界、地方公共団体と連携して開催）

国際イベント

- スポーツ・フォー・トゥモロー（各国スポーツ担当大臣会合の開催）
- 2019年ラグビーワールドカップ（開催地とも連携した会議の開催等を検討）
- スポーツ・インテグリティの推進（WADA関連会議の開催を検討）
- 2020年オリンピック・パラリンピック文化プログラム

ワークショップ

- WEFをはじめとした民間団体等と連携して、アスリートやアーティスト、民間企業経営者等とともに、社会課題や「道」の精神、文化プログラム等を議論

文化イベント

- 世界のトップアーティストと日本のトップアーティストのコラボレーションによる各国の伝統文化が融合した斬新なパフォーマンスの披露など、新たな芸術の発信
- 世界遺産である神社・仏閣、美術館等を舞台に、日本人及び外国人芸術家によるコラボレーション・パフォーマンスの発信

スポーツ・文化関係の連携

ダボス若手メンバーの会議 （世界経済フォーラムが開催）

- （想定する参加者）
- ヤング・グローバル・リーダーズ（YGL）

- ← アーティスト等の人材・ノウハウの提供
- ← ディスカッションテーマの提案・ジョイントセッションの開催



※経済産業省等と調整し、ビジネスマッチングの機会提供を検討

スケジュール

準備室の設置

官民協働の実行委員会立ち上げ

官民協働で開催準備

リオ大会

スポーツ・文化・ワールド・フォーラム開催

スポーツ・フォー・トゥモローの更なる推進

日本全国津々浦々で文化プログラムを実施

ラグビーW杯

東京大会

2015年4月

夏頃

2016年8月～9月

10月

2019年

2020年